

# J-DAVID News



Japan Dialysis Active Vitamin D Research Group



7月14日、NASA無人探査機ニューホライズンは冥王星に最接近！白いハートがロマンティックですね。一方、地上は猛暑日、熱帯夜。学生さんは長～い夏休み。データセンターはいつも通り作業をつづけております。さ～て今月のメッセージは、中央内科クリニック 川合 徹先生からいただいております。

## 世話人・幹事からのメッセージ

### 「J-DAVID 研究に対する私の期待」

中央内科クリニック  
川合 徹 先生

第60回日本透析医学会の大会期間中に宿泊先のホテルのエレベーターの前で庄司哲雄先生から突然J-DAVID Newsの執筆依頼を受けました。私のような若輩者に庄司先生から声をかけていただき、考える間もなくふたつ返事で引き受けてしまいました。しかし、普段文章を書く機会は患者さんの紹介状を書く以外にはほぼ皆無につき、安請け合いましたことを後悔しました。

ビタミンDについていろいろと考えてみましたが、私の初期研修時代には現在のようにシナカルセトや種々のリン吸着剤はなく、ようやく塩酸セベラマーや高Ca血症を来しにくいビタミンDの注射剤が上市された時でした。低Ca血症並びに二次性副甲状腺機能亢進症を呈した透析患者さんはたくさんおられました。そのような患者さんに対して、私は安易に炭酸カルシウム製剤とビタミンD製剤を投与しておりました。塩酸セベラマーは食前投与並びに投与量も多く、副作用として消化器症状を強く認めていたため、積極的に投与しにくい状況でした。そのため、患者さんは高Ca血症、さらには

全身異所性石灰化を容易にきたすため、ビタミンD製剤に対してあまり良い印象は持っていませんでした。

その後大学に戻り、腎線維化抑制の研究を開始しました。その時にマウス片腎尿管結紮モデルにおいて、Paricalcitol投与にて腎線維化を抑制する論文を拝読した際(J Am Soc Nephrol 17: 3382-3393, 2006.)、in vitro及びin vivoレベルにおいてビタミンD製剤の腎線維化抑制作用の証明記述内容には驚きました。今ではシナカルセトや非Ca製剤のリン吸着剤も上市され、高Ca血症を伴うことなく、比較的安全にビタミンD製剤を投与することが可能となっていますが、未だに透析患者さんの石灰化問題は解決されていません。透析患者さんに対して本当にビタミンD製剤が必要か否かについて、本研究において明らかになることを楽しみにしております。



## 最近の文献から

**パリカルシトールによるKlotho発現調節は腎臓、副甲状腺と大動脈では異なる—腎不全ラットでの検討**  
**Differential expression and regulation of Klotho by paricalcitol in the kidney, parathyroid, and aorta of uremic rats.**

Ritter CS, et al. Kidney Int 87: 1141-52, 2015

【ポイント】腎不全で腎臓でのKlotho発現は低下するが、他の臓器でのKlotho発現や変化については議論がある。5/6腎摘ラットのKlotho発現を免疫染色で評価したところ、腎臓と大動脈内膜中膜では低下、副甲状腺では不変、大動脈外膜では増加が認められた。パリカルシトール投与により、腎での低下は抑制、副甲状腺での発現は増加、大動脈中膜では効果なし、外膜での増加は抑制された。

【詳しくは】 <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/25692955>

# 最新進捗状況

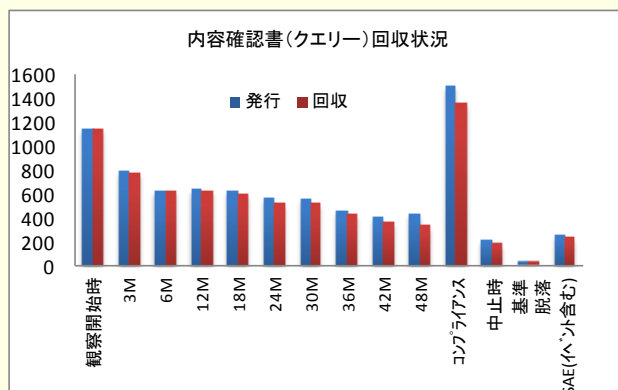
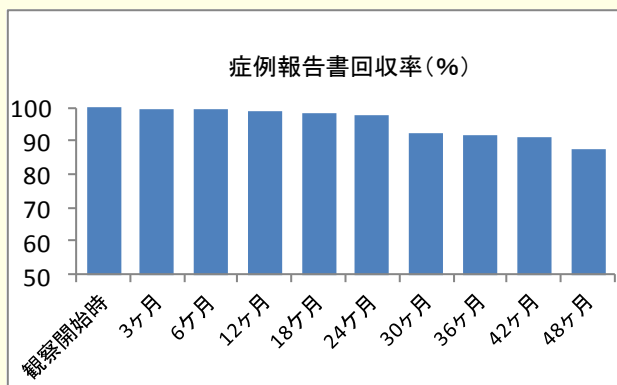
進捗状況を報告いたします。(7月29日現在)

## 症例報告書回収状況報告

	観察開始時	3ヶ月目	6ヶ月目	12ヶ月目	18ヶ月目	24ヶ月目	30ヶ月目	36ヶ月目	42ヶ月目	48ヶ月目
前月	976	936	923	879	843	803	724	688	649	569
今月 (前月比)	976	936 (-)	923 (-)	879 (-)	844 (+1)	804 (+1)	725 (+1)	689 (+1)	655 (+6)	602 (+33)

## 内容確認書(クエリー)回収状況報告

	開始時	3ヶ月目	6ヶ月目	12ヶ月目	18ヶ月目	24ヶ月目	30ヶ月目	36ヶ月目	42ヶ月目	48ヶ月目	コンプライアンス	中止時	脱落基準	SAE(イベント含む)	総数
発行	1137	783	622	638	616	561	555	459	399	425	1496	202	30	255	8178
回収	1137	777	616	627	592	528	519	425	353	332	1363	181	29	234	7713
回収率(%)	100.0	99.2	99.0	98.3	96.1	94.1	93.5	92.6	88.5	78.1	91.1	89.6	96.7	91.8	94.3



## J-DAVIDデータセンターからのお知らせ

全症例の48ヶ月報告期間が終了しました。いよいよ終盤にはいってきました。  
データセンターとしましてもデータ回収とクリーニングに注力して取り組んでいきます。

### 症例報告書のご提出をお願いします。【重要】

48ヶ月までの症例報告書の提出期限を7月末とご案内しておりましたが、まだご提出されていないご施設がございます。すみやかにご提出くださいますようお願い申し上げます。

また、登録開始～48ヶ月期間内でイベント発症など重篤な有害事象についても再度ご確認いただき、未報告のものがありましたら合わせてご提出ください。ご協力の程宜しくようお願い申し上げます。

### 内容確認書(クエリー)をご回答ください。【重要】

内容確認書(クエリー)の回答がいただけていないご施設様がございますのでご対応をお願いいたします。ご不明な点がございましたらJ-DAVIDデータセンターまでご連絡ください。

編集・発行：J-DAVID研究会事務局  
〒545-8585大阪府阿倍野区旭町1-4-3  
大阪市立大学大学院医学研究科  
代謝内分泌病態内科学 内  
電話 06-6645-3806 FAX 06-6645-3808  
J-DAVID試験データセンター  
電話 06-6645-3443 FAX 06-6646-3588

J-DAVIDのホームページ  
<http://j-david.info/>